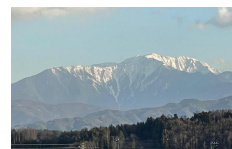


ああ 遠くの空は 晴れている

NO27

南箕輪村教育委員会



「君たちは、精一杯生きていますか？」

この問いに、どう応えますか！

人権講演会

南箕輪小学校・南部小学校の6年生児童、南箕輪中学校全校生徒と一般参加者のみなさんが、登天ポールさんから「いじめ撲滅・自殺反対」のお話を聞きました。

小中学生と一般参加者の方の感想をご覧ください

出典:長野日報 6月30日



講演する登天ポールさん

いじめはだめ 命は大切

「南箕輪」

南箕輪村と村教育委員会

は22日、人権講演会を同村の南箕輪中学校で開いた。人権教育エンターテイナーの登天ポールさんが「いじめマウンテンをめざして」と題して講演。派手な衣装に身を包み、歌や踊りのにぎやかな演出で会場を盛り上げつつ、「いじめをしてはいけない理由」や「命が尊い理由」について自身の経験を踏まえながら同村の小中学生や保護者ら約750人に語り掛けた。

登天ポールさん招き 南中で人権講演会

登天ポールさんは子どもの自殺問題に向き合い、歌でできることを考え、47都道府県を巡って「いじめ撲滅」や「自殺反対」を訴えてきた。目標を山(マウンテン)に例え、どんな状況でも自分の大切なものを忘れない思いを大事にしながら活動している。

講演では、「なぜいじめをしてはダメなのか」「なぜ命は大切なのか」と、投げ掛けた。登天ポールさんは、母親が自分を命がけで生んでくれた、その母親は祖母が命がけで生んでくれたという繰り返しの言葉で、「ずっと」と命はつながりつづいて、「新しい命は今ここに生まれる」とし、命の尊さを伝えた。

自分たちが親をばいさまでまな人が託した多くの願いの上に生きていることも触れ、「いじめは、その人だけじゃなく、その後の人たちの願いや思いまで傷つけてしまう」とした。

登天ポールさんの講演は、合間に自作の曲の弾き語りや生徒の近くに寄って一緒に盛り上げる演出などがあり、親しみやすい雰囲気で行った。南箕輪中3年の小瀬さんは「人の立場に立つって話を聞いて、大切だと思

感想 私は今、「毎日を精一杯生きている」とは言えません。ときどき、生きているのが嫌になることもあります。

ですが、登天ポールさんのような、心の強い人を見ていると、「自分も頑張ってみよう」と思います。「自分を好きになってみよう」と思います。

すてきな歌をありがとうございました。

(中学生)

感想 今までいじめはだめだと思っていたけど、そこまで考えたことがなかったから、今回考えられてよかった。そして、「親が命をかけて産んでくれた命だから大切にしないと」と思った。

(小学生)

感想 「命は何で大切なのか」

「命の尊さ・いじめはなぜダメなのか」がわかる講演会だった。時々歌ってくれた曲にとっても感動しました。短い曲でも、内容がぎっしりつまっていて、とても元気ができました。

(小学生)

感想 「精一杯生きていますか？」

精一杯生きることは、人を傷つけたりけなしたりすることではない。自分を成長させること…一緒にしあわせマウンテンを登っていこう！

会場を巻き込んでのマウンテン体操？よかったです。

(一般参加者)

しあわせマウンテン をめざして

感想 私もこれまで生きてきた中でつらいこともあって、「生きるって大切なのかな〜」と思ってしまう自分がなぜかいて、苦しい時があった。

今日の話を聞いて、そうやって子どもたちを助けてくれたり、応援したりしてくれる人がいるんだとわかって、もう一度考えさせられました。 **(中学生)**

感想 自分にも友だち関係でつらいことがあって、何度もしにたくなる時もあった。けど講演を聞いてから、元気になれた。おもしろくて説得力があって、あきらめずにやっていて、自分もそんな風になりたい。これからもがんばってほしい。 **(小学生)**

感想 「いじめをなくし、自殺をする子がいなくなるように」という思いで日本を一周し、それぞれの場所で必ず一人には元気を与えどんなに大変でも同じ思いで活動してきたという話に、すごく感動しました。 **(小学生)**



感想 いじめ・自殺をなくそうと活動している姿・行動そのものが、まねできないことで尊敬します。こういう方々が実際にいらっしゃるということが勉強になる。 **(一般参加者)**

感想 欲を言えば、旅のお話中心ではなく、「しあわせマウンテン」「登っていく」など独特な言葉に込められた意図と、それらが生まれた経緯、そして登天さんの「いじめ」「自殺」に対する思いや思春期の子ども達へのメッセージを、もっとお聞きしたかったです。 **(一般参加者)**

感想 私は、登天ポールさんの歌や話を聞いて、一人一人の大事な命について、前よりももっと大切に思えました。

地震でみんなが慌てている中、一人の言葉で笑顔になれるのはすごいから、私もそういうことができるようになりたいと思いました。

歌を聞いて、「いじめは絶対ダメなものだ」と改めて気づかされ、いじめをされても少しでも明るくいけるような感じがしました。 **(中学生)**

感想 「精一杯生きていこう」という言葉に、胸をうたれました。マウンテンソングが盛り上がり、楽しめました。 **(一般参加者)**

感想 「いじめ」や「自殺」は絶対にやってはいけないと、心の底から思いました。そのことをみんなに知ってもらうために、旅をし続けるのはすごいと思ったし、旅のことを知ってもらうのは、すごくいいことだと思いました。 **(小学生)**

感想 マイナスをマイナスでたたくのではなく、マイナスにプラスで立ち向かうような新しい講演で、おもしろかったです。

「しあわせマウンテン」を目指して、登天ポールさん がんばってください。
(中学生)



感想 登天ポールさんが、自ら命をたってしまう人やいじめられていやな気持ちになった人を救うために、いろいろな県や町に行って歌っているのがすごいと思った。(小学生)

感想 「ひさんな時こそ、笑っていよう」という言葉が、とても心に響きました。

日本中周って、いろんな人に「いじめはダメ 自さつはダメ」ということを伝えているのがすごいと思ったし、笑顔を届けているのがとてもすばらしいと思いました。

(中学生)

感想 「いじめがなぜいけないのか」という問いかけは、すごく大事な問いかけであり、会場にいる子どもにも大人にも響くものであると感じた。

シリアスな話になりがちな部分を、ポールさんのやさしい声と歌でお話してくれて、とてもありがたかった。

(一般参加者)

感想 ポールさんは、大変なことがあっても最後まであきらめないで全国を回って、いじめと自殺について講演をしていた。

人はあきらめなければ最後は何とかなるんだと思った。だから自分も大変なことがあってもあきらめないでがんばりたいと思った。

(小学生)

感想 登天ポールさんによる講演は、歌で自分たちの思いを私たちに伝え、いじめの根絶・自殺者を無くすことを「夢」として現在進行形でかなえていて、尊敬する気持ちであられました。

私も、自殺者がいなくなることを願います。

(中学生)

感想 いじめをされて自殺する人が多いから、一人になっている人に声をかけるだけでも、それが防げるかもしれないことが分かったので、一人にしないことが大切。

いつも心にマウンテンにすれば、笑顔ですごせるかなー と思った。

一日を大切にすごしていきたい。

(中学生)

感想 ムダな命なんて何一つない。生きていてくれる。そこにいてくれる。ただそれだけでいい。そんな言葉を、自分にも、自分以外の人にも伝えられる子ども達になってほしい、 と思った。(一般参加者)